

学科 学年	C 2	科目 分類	物理 Physics	講義	必修	H18通年	2履修単位	学習教育目標	B	担当	住吉光介 SUMIYOSHI Kohsuke
概要	1年物理の知識を元に、自然現象や日常生活で現れる事柄に潜む物理法則について実験例を通じて学ぶ。定性的な理解を深めるとともに、数式を用いて定量的に物理法則を扱う。前期には波動現象、音、光に関する法則による記述と現象の取り扱いについて学ぶ。後期には静電場の基礎について学び、原子・原子核の世界での量子論の初歩的な概念について学ぶ。										
科目目標 (到達目標)	自然現象を物理法則のもとで理解すること。前期：波動現象について理解すること。波の基本的な物理量、音や光の現象における物理法則を取り扱うこと。後期：静電場の性質、力学との関連を理解すること。原子世界での物理法則の考え方を理解し、物理量のスケールを把握すること。										
教科書 器材等	高等学校物理I、物理II（実教出版）、プログラム物理中、下（秀文堂）										
評価の基準と 方法	定期試験の平均成績で評価する。問題集の解答レポート、問題板書、演習・実験レポートの評価を該当する期間の定期試験に最大20%まで組み入れる。評価点が満点の60%に達すれば合格とする。定期試験で合格点に満たない者は、課題を与え、面接あるいは再試験によって達成度を確認できた場合は最低点で合格させることがある。										
関連科目	物理（1年次）										
授業計画											
	参観	（授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）									
第1回		ガイダンス・波の基本量									
第2回		波の式・正弦波									
第3回		波の式・進行波									
第4回		波の重ね合わせ・定常波									
第5回		波の反射									
第6回		波の屈折									
第7回		波の干渉・回折									
第8回	×	前期中間試験									
第9回		音波の性質									
第10回		弦の振動									
第11回		気柱の振動									
第12回		ドップラー効果									
第13回		光の性質									
第14回		光の干渉・回折									
第15回	×	前期期末試験									
第16回		ガイダンス・静電気									
第17回		クーロンの法則									
第18回		電場									
第19回		電位									
第20回		点電荷による電位									
第21回		等速回転運動と水素原子									
第22回		まとめ・問題演習									
第23回	×	後期中間試験									
第24回		ミクロの世界・波と粒子									
第25回		光電効果・光子									
第26回		波動の粒子性（X線）									
第27回		電子の波動性									
第28回		水素原子									
第29回		原子核と放射線									
第30回	×	後期期末試験									
オフィス アワー		原則として火～金の16:30-17:15									
授業アンケートへの 対応		授業中に学生が演習問題を解く機会を設けるため問題プリントを用意する。									
備考											
更新履歴	060113新規										